

ウェディング 今を写す



30人ほどが入るチャペル。準備の若手社員も華やいている＝大阪市北区

苦手のキモチ



営業兼カメラマン 橋本真樹さん(26)

祖父母の葬式でお世話になり、この会社にご縁を持ってました。08年に営業で入社。1年修業しカメラマンとしてデビュー。「ハートのある写真」が目標！

data 1989年設立。社員数517人（うち女性301人、2月末時点）、売上高126億5100万円（2011年5月期）、大卒初任給19万5000円。13年春卒は総合職、一般職、技術職で採用予定。



ドキュメンタリー方式で仕上げるこだわりのアルバム

リック (神戸市)

冠婚葬祭業

採用数

13年春卒 30人予定

「年商100億円」。その目標を掲げ、高橋景社長(51)がエステとレンタル衣装の会社を設立したのは、28歳の時。双子を育てるシングルマザーだった。

ようやく軌道に乗った1995年、阪神大震災で神戸の店と事務所が全半壊。会社は休眠状態に。母が営む葬祭会館を手伝い、多くの遺体と遺族に接した。その経験が、経営者としての考えを根本から変えた。

「喜びのこまこまを形に」。95年春、デザインアルバム事業を立ち上げた。結婚式の1日をドキュメンタリー方式で撮影し、アルバムを作る。当時どこも手がけていなかった

な手法で、申し込みが殺到した。なおも試練は続く。97年の山一ショック後、金融不安が広がり、銀行の貸し渋りにあった。しかし社員に「リストラせず、給料も下げない。むしろ拡大路線」と告げ、訴えた。

「網(会社)にぶら下がらないで。網を引くふりをしていた人は少しでも力を出して。本気で引いてい

た人、もう少し力をください」。2000年には「小さな結婚式」事業をスタート。ドレス・ヘアメイク・写真・挙式で4万8千円(当時)。「バツイチだから、再婚する」としたら派手な式はちょっと」という社長の思いがきっかけだ。式場で

他の若い花嫁と鉢合わせしたくない、お金もかけたくない、でもドレスは着たい。そんな女心をとらえ、現在、年9千組が利用する。

このほか、家族だけのお葬式「ファミリー葬」や電報事業などを展開。08年、念願の年商100億円を達成した。

東日本大震災の被災地支援にも取り組み。写真洗浄にがれき撤去のべ1000人を派遣した。

12年春卒の採用は32人。13年春卒も同規模を採用する予定だ。「嫌なことでも、極める心を持っている人、この指とまれ、です」(文・諸妻美紀、写真・伊藤菜々子)